

オンライン会議 活用事例集

Microsoft Teams Rooms



- 海上輸送サービス会社様
- 金属部品製造会社様
- IT 商社様
- ソフトウェア開発会社様



VTV ジャパン株式会社

<東京オフィス>

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 第2フナトビル6階
TEL.03(5210)5021 FAX.03(5210)5022

<大阪オフィス>

〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-5-9 井門瓦町ビル5階
TEL.06(4706)3930 FAX.06(4706)3931

* 本カタログの記載内容は2023年4月現在のものです。
* 利用シーンの写真には、はめ込み画像などイメージ画像が含まれます。
* 製品の外装・仕様・価格は、予告なく変更される場合があります。製品の詳細や仕様などについては、営業担当にご確認ください。
* 会社名および製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

Teams Rooms の導入は VTV ジャパンにお任せください！

お客様の環境や利用用途に適した製品を、Microsoft社の厳格なテスト基準をクリアしたMicrosoft Teams認定デバイスの中からご提案させていただきます。お気軽にご相談ください。



安心してお任せいただける支援体制をご用意

VTVジャパンがTeams Roomsのマルチベンダーとして、またMicrosoft社の認定資格を持つスペシャリストとして運用面・技術面の双方からTeams Roomsの導入をサポートします。導入後の保守サポートもお任せください。

ご要望に沿った柔軟性に
富んだシステム提案



Microsoftの認定資格取
得者が導入をサポート



気になるメーカーのTeams
Roomsやデバイスの比較
ができるデモを実施



パッケージ製品からAV
インテグレーションまで
幅広くご提案



Microsoft365 設計・設定支援プログラム

Microsoft Teams Rooms導入に際しMicrosoft365の設計および設定に不安をお持ちのお客様に、VTVジャパンの知見・実績を活かしてアドバイスする有償プログラムです。お客様が安心してご導入いただけるように3つのプランをご用意しています。

MSP 1: ベーシック

自社にMicrosoft365の知見があり且つ運用全体でベンダーの支援を受けることができるが、Microsoft Teams Rooms設定に関してサポートしてほしい

構築／運用: 自社

MSP 2: プロフェッショナル

Microsoft365の構築および運用についてはベンダーの支援を受けることができるが、Microsoft Teams Roomsは契約外のためフォローしてほしい

構築: ベンダー／運用: 自社

MSP 3: アドバンス

Microsoft365の構築はベンダーへ委託し、運用は自社が担当するが知見がないためトータルで支援してほしい

構築: ベンダー／運用: 自社

Microsoft Teams Rooms 出荷前キitting・設置サービス

出荷前キitting

機器納品時に安心してご導入いただくために必要不可欠な作業となります。機器の動作確認はもちろんのこと各アプリケーションを最新版にアップデートして出荷いたします。

設置サービス

Microsoft Teams Roomsだけでなくテレビ・スタンドも含め標準的な設置サービスは、日本全国（離島及び一部地域を除く）一律料金で提供しております。

※会議室インテグレーションの内容に応じて専門技術者の対応が必要な場合、別途お打ち合わせの上価格をご案内いたします。

Microsoft Teams Rooms 保守サービス

お客様のご要望に合わせてお選びいただけるプランをご用意しています。

コールサポート

製品交換代替機貸出

オンサイト保守

東京・大阪のショールームでデモンストレーションを実施中！
デモのお申し込み、ご相談は Web サイト、またはお電話で！

TEL :
03-5210-5021

VTV デモ

Microsoft Teams Rooms導入事例 混在する異なる技術規格の会議ツールをMicrosoft Teamsに集約 シンプルなコミュニケーション環境を実現

User Profile

海上輸送サービス会社様

事業内容：船舶による貨物の運輸
従業員数：約300名
導入年月：2023年1月

海上輸送サービス会社様は、テレビ会議システム、Web会議、Microsoft Teams、Microsoft CVI(テレビ会議システムとMicrosoft Teamsを相互接続するサービス)など、異なる技術規格のコミュニケーションツールを接続相手や参加場所、会議体に合わせて使い分けてきました。

そんな中、利用中のテレビ会議専用機のメーカーサポート終了の案内を受け、コミュニケーションツールを同社で一番利用頻度が高いMicrosoft

Teamsに集約できないか検討することになりました。

会議室向けのソリューションを探していたところ、VTVジャパンの開催するウェビナーでMicrosoft Teamsに専用機があることを知りました。

「Microsoft Teamsと接続可能で、会議室での利用に特化した機能を搭載しているなら、テレビ会議システムの後継になり得ると感じ、検討に向け詳しく話を聞いてみることにしました。」(ご担当者)

変化の多い会議室環境に対応できる、可動式のTeams Roomsソリューションを採用

ご相談を受けたVTVジャパンは、デモルームで実機の利用イメージをつかんでいただくとともに、お客様とディスカッションしながらシステム要件を明確にしていきました。

最初にOSの検討から着手しました。Microsoft Teams RoomsはWindows版とAndroid版があり、OSによって選べるモデルが異なります。

「社内のコミュニケーションツールは技術規格がばらばらで、サポート対応など管理が煩雑でした。管理負荷を鑑みてOSは増やさず、業務PCと同じWindows版の方が良いと判断しました。」(ご担当者)

Windows版モデルは拡張性に優れており、会議室の規模や用途に合わせてAV機器のカスタマイズが可能です。最適なAV機器をご提案するため現地調査を実施したところ、以下のことがわかりました。

1. 組織変更や事業計画に合わせたオフィスレイアウト変更が多く、レイアウトによっては、会議室自体の大きさが変わる可能性がある
2. オフィスには現在12名、20名収容の会議室があり、それぞれ会議ごとにレイアウトを変更するが、会議設備の配線取り回しが煩雑

会議室の大きさや配線を気にせず、レイアウト変更にも対応できる機器構成と運用が必要でした。

そこでTeams RoomsのAV機器として、カメラアングルを柔軟に調整できるPTZカメラと集音範囲が広く会議テーブルに置かず利用できるパー型マイクを組み合わせ、キャスター付きのカートに会議に必要な機材とケーブルをまとめ、移動させて利用することができる方法を提案しました。

機器構成を決定後、提案した機材が実環境でも性能を発揮できるかを確認するため、お客様先に機材を持ち込んで検証しました。

「操作性は確認できていたので、Teams RoomsとAV機器が連携し、問題なくやり取りできるかが懸念事項でした。パー型マイクの集音性能の良さは予想以上で、20名収容の会議室で一番奥の席から発言してもクリアに聞こえ、充分に対応できると思えました。」(ご担当者)

こうして、同社の2つの会議室へのTeams Rooms導入が決定しました。



Microsoft Teams Rooms
Lenovo ThinkSmart Core + Controller



PTZカメラ
AVer CAM520 Pro2



パー型マイク
Shure MXA710



オーディオプロセッサソフトウェア
Shure Intellimix Room
※ Teams Roomsにインストール

設置場所を固定せず、オンライン会議に必要な機材をキャスター付きカートにまとめ、移動させながら利用



コミュニケーションツールが統一され、ユーザーのツール選択基準がシンプルに

社内コミュニケーション基盤がMicrosoft Teamsに統一されたことで、自宅や自席からはMicrosoft Teams、会議室からはTeams Roomsを使って会議に参加するシンプルな運用が実現しました。

同社のユーザー様からは「操作がボタンリモコンからタッチパネルに変わり、使い勝手がよくなった」とご好評をいただいています。

今後の展開についてお伺いしました。

「今は新しいツールと運用を浸透させるフェーズだと考えています。新しいものに抵抗感のある社員もいるので、まずはとにかく利用してもらい、より使いやすくなったという認識を社内に広げていきたいですね」とコメントいただきました。

Microsoft Teams Rooms導入事例 システム管理部門のサポート負荷を軽減 Teams Roomsがユーザーにやさしい会議環境への第一歩に

User Profile

IT商社様

事業内容：ソフトウェアパッケージの販売
従業員数：約400名
導入年月：2022年11月

IT商社様は、働き方改革推進を目的にMicrosoft TeamsやZoomを活用しながらハイブリッドワークに取り組んでいます。取り組みの一環として、会議室からオンライン会議に参加できるように、USB対応の周辺機器と接続手順書を用意しましたが、トラブルが絶えず情報システム部が対応に追われる事態が発生していました。

「原因の8割が配線ミスなど初歩的なもので簡単に解決できるものの、対応件数が一方向に減らないことが悩みでした」と、ご担当者は当時を振り返ります。

そんな中、事業拡大に伴いオフィスの増床が決定し、新フロアのオンライン会議用機器導入を情報システム部で担当することになりました。新フロア用の機器を探していたところ、Microsoft Teams Rooms / Zoom Roomsソリューションが目にとまりました。

「据え置き型で会議準備が簡単そう且つタッチパネル操作なので、ユーザー自身で使いこなせるのではないかと思います」（ご担当者）

導入するなら、Zoom Rooms? Teams Rooms? 自社に適したシステムを徹底検討

IT商社様の主なオンライン会議ツールはMicrosoft TeamsとZoomですが、使い分けは社員に任せていました。どちらの専用機が自社に向いているのか判断に悩み、VTVジャパンにご相談いただきました。

そこで、弊社にて比較デモを実施し、それぞれの操作感や品質をご確認いただきました。

「できることに大きな差はないと判断しました。どちらも操作が簡単なので、あとは運用次第だと感じました」（ご担当者）

そして、同社がMicrosoft 365を契約中であること、社内アンケートでMicrosoft Teamsの方が利用頻度が高いとわかったことから、Teams Roomsの導入検討を進めることになりました。

次に、OSと機種を選定に移りました。ご担当者は、一番の課題であった会議参加時のトラブルを軽減できる、簡単に使える機材を希望していました。同社のトラブルの原因として圧倒的に多かった「配線作業」を必要としないバー型モデルがラインナップされているAndroid版から選択することにしました。

VTVジャパンは、以下の理由からPoly社のX50を提案しました。

1. カメラ・マイク・スピーカーが一体となったバー型であること
2. バー型ながらメーカー純正の追加マイクがあり、会議の参加人数や室内レイアウトの変更があった場合も、対応可能であること

そして機材が実用に足るか、お客様環境で確認することになりました。当日は、工事中の新フロアの代わりに別フロアで同じ規模の会議室に機材を設置し、社員が自由に見学・体験できるようにしました。

タッチパネルで操作できる点や、Microsoft Outlookと連携すれば参加ボタンを押すだけで参加できる簡単さは、同社のユーザーに好評でした。

また、ご担当者にとっても実環境でのデモは、ユーザーのリアルな反応が見えるほか、運用面でのメリットもありました。

「デモに向けて、VTVジャパンのアドバイスのもと、Microsoft 365の設定を変更しました。どのような設定が必要なのか事前に把握できたことで、導入時のイメージをつかめたのは大きな収穫でした。これなら安心して導入できると判断しました」（ご担当者）



Microsoft Teams Rooms
Poly X50

トラブル発生件数が大幅減！ユーザーだけで利用できる環境を実現

新フロア完成とともに、Teams Roomsの運用が開始されました。Teams Roomsを設置していない会議室と比べ、トラブルも少なく利用できているようです。

また、Teams RoomsはMicrosoft Teams以外のWeb会議にゲスト参加できるDirect Guest Join機能に対応しています。Zoomの利用頻度の高い社員にとっても会議室からミーティングに参加しやすくなり、新フロアの会議室において、ご担当者が目指していたユーザーだけで利用できる環境が実現しつつあります。

今後の展望について伺ったところ、「他の会議室への設置も検討しています。Teams Roomsはアップデートもあるようなので、運用効率化につながる機能はどんどん取り入れたいと思っています。VTVジャパンには新機能や便利な使い方など、情報やノウハウの共有を期待しています」とコメントいただきました。

VTVジャパンは、引き続きお客様が目指す「ユーザーにやさしい会議環境」づくりをサポートして参ります。



Microsoft Teams Rooms導入事例 オンライン会議運用を長年担当してきたパートナーと実現した 役員も混乱なく受け入れられるスムーズな新ツールへの移行

User Profile

金属部品製造会社様

事業内容：自動車部品・家電等の製造、販売
従業員数：約20,000名
導入年月：2023年3月

長年オンライン会議の運用をサポートしてきた金属部品製造会社様より、オンライン会議ツールの入れ替えの件でご相談をいただきました。お客様は海外本社の意向で、オンライン会議ツールをCisco社のテレビ会議システムで統一してきました。しかしコロナ以降、取引先や働く環境に応じてさまざまなツールを利用せざるを得なくなったことから全社で統一することをやめて、各国に判断を委ねられることになりました。これを受け、日本国内はMicrosoft Teamsに統一することが決定しました。

決定当時、多くの社員がリモート勤務を行っており、それぞれが自分のPCからTeams会議に参加していましたが、コロナが落ち着き出勤する

社員が増えことで、リモートとオフィスの双方から会議に出席するハイブリッド会議が主流になりました。会議室から複数人でTeams会議に参加するために、参加者の一人が各会議室に設置されているモニターとマイクスピーカーを使い、持ち込んだPCを拡張して会議に参加するスタイルが出来上がりました。

しかし、役員会議室だけは、テレビ会議システムのような音声・映像品質を維持しながら、シンプルでトラブルの少ない運用を続ける方法がないかとご担当者は考えていました。

ツール変更による混乱を最小限に、Microsoft Teamsへ移行するために

ご担当者へのヒアリングの結果、今回の役員会議室のオンライン会議用端末の入れ替えについては、以下が条件になりました。

- ①Microsoft Teamsに接続できる
- ②Cisco社の専用機の使用感を損なわずに利用できる
- ③役員会議室に既設のAV周辺機器をそのまま利用できる

Microsoft Teamsの専用機であるMicrosoft Teams Roomsが、今回の条件に適していると考えた弊社担当は、早速機器の選定に入りました。

お客様のセキュリティポリシーにより、Windows以外のOSは利用が禁止されているため、Windows搭載モデルから選ぶことになりました。

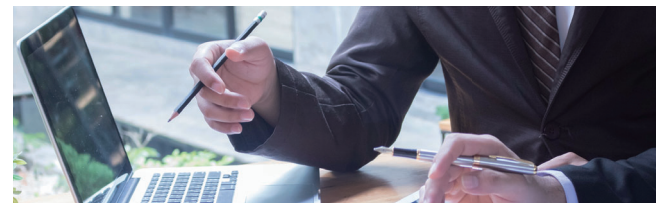
以前、Skype for Businessを試験導入した際に会議用PCとしてLenovo社の製品を採用した経緯から、同社のTeams Rooms対応製品であるThinkSmart Core + Controllerが選択されました。合わせて、現在利用しているテレビ会議システムのカメラと同様にパンチルトズームに対応しているAVer社のCam520 Pro2をご提案しました。

新旧システムにおける操作の変更点をご説明するとともに、提案機材を実際に操作確認いただき、2023年3月に導入することができました。



PTZカメラ
AVer CAM520 Pro2

Microsoft Teams Rooms
Lenovo ThinkSmart Core + Controller



Microsoft 365設計・設定支援プログラム
Teams Rooms導入時に必要なMicrosoft 365の設定変更のアドバイスを提供するプログラム
ご要望に応じた3つのプランから選択可能

設計・設定支援プログラムと保守サポートで、Teams Rooms導入をスムーズに完遂

今回Teams Roomsを自社テナントに追加するにあたり、Microsoft 365設計・設置支援プログラムをご利用いただきました。Teams Roomsを自社テナントに追加するには、Microsoft 365側の設定変更が必要になります。各社設定内容や利用環境が違えば、うまく設定できない箇所も異なることから、ご担当者を柔軟にサポートするためご用意しているメニューです。実際にお客様の環境でも、セキュリティソフトが干渉するなどのトラブルがありましたが、Microsoft社の認定資格を持つ弊社社員によるサポートのもと、設定変更を完了することができました。

導入直後に役員会議が行われ、導入機器の感想を伺うことができました。長年利用されていたテレビ会議システムの特長であった「タッチパネル操作」はTeams Roomsにも引き継がれ、戸惑うことなくご利用いただ

ています。また既設のマイクやスピーカーが引き続き利用できたこと、カメラも同じPTZ対応であることで、使い勝手・品質ともに以前との差は最小限に抑えられたようです。

テレビ会議システム導入時から長年にわたる弊社のサポート対応をご評価いただき、Teams Roomsについても同様に運用サポートを提供していくことになりました。現在、トラブルが頻発しているご相談を受けているPCとマイクスピーカーで運用している会議室の機材入れ替えも含め、長年お客様をサポートしてきたからこそできる、ご要望に沿った効率的なオンライン会議運用のご提案を続けていきたいと思っております。

Microsoft Teams Rooms導入事例 テレビ会議システムの利点をTeams会議の運用に活かし BYOD会議の不満をTeams Roomsで解消

User Profile

ソフトウェア開発会社様

事業内容：システム設計・開発・支援サービス
構成員数：約400名
導入年月：2023年3月

ソフトウェア開発会社の総務部の情報システムご担当者から、Microsoft Teams Roomsの実機を見たいとVTVジャパンにお電話をいただいたのは2023年2月でした。

ご担当者は社内のメインコミュニケーションツールであるMicrosoft Teamsをはじめ、自社のオンライン会議環境の管理・運用を一手に担われていました。ユーザーから改善要望が挙がっている会議室運用の問題に対応するために、Teams Roomsについて独自に調査をされていました。

セキュリティポリシーでOSはWindowsしか導入できないこともあり、Windows搭載モデルを展開しているLenovo社のTeams Rooms対応製品を導入候補として検討されていました。

同社は東京と大阪の双方に本社があるということで、VTVジャパンの東京と大阪のデモルームにそれぞれご来社いただき、実際に接続してデモンストレーションをご覧いただくことになりました。

会議室からTeams会議への複数人参加 - BYODでの運用に不満が出ている理由

デモンストレーション当日、まずはTeams会議の運用状況と、抱えている問題・課題についてお伺いしました。

1年ほど前に社内のメインツールをMicrosoft Teamsに決定してから、社内外問わず会議のほとんどがTeamsで行われているそうです。

同社には大阪に会議室(定員8名)が1つ、東京に会議室(定員10名)とセミナールーム(定員50名)が1つずつあります。会議室に集合してオンライン会議に参加する場合は、参加者がPCを持ち込み、各会議室備え付けのマイクスピーカーとディスプレイに接続して映像音声を拡張するBYOD(Bring Your Own Device)方式で運用しています。この運用方法に以下の不満が出ているというのです。

1. 会議用PCの貸出手続きが手間

事業柄、社員の半数が開発エンジニアで、デスクトップPCを利用しています。会議室にPCを持ち込めないため、参加者の中にノートPCを持つ社員がいない場合は、都度PCの貸出手続きが必要でした。

2. 会議PCの操作に気を取られて、会議に集中できない

参加者の中にノートPCを持つ社員がいる場合、ノートPCの用途が会議接続に占有されてしまいます。また、会議中に表示されるチャットやメール、スケジューラーの通知ポップアップの削除や、資料共有など、PCを操作する必要があり、会議に集中できないとの声が挙がっていました。

3. ノートPCの内蔵カメラではスペック不足

ノートPCのカメラでは会議室内の参加者が全員映らず、発言に対する反応や雰囲気伝わらず、接続先からの評判は良くありませんでした。

同社は以前ソニー製のテレビ会議システムを利用していたことがあり、会議室常設の専用機の運用のしやすさを知っていたことから、Microsoft Teamsの専用機であるTeams Roomsに興味を持たれたそうです。

デモンストレーションではご要望をいただいたLenovo社のTeams Rooms対応製品 ThinkSmart Core + Controllerと、AVer社のPTZカメラ CAM520 Pro2をご覧いただきました。どちらもMicrosoft社が厳格な審査のもとに認定したデバイスです。

ご担当者はThinkSmart Coreの操作性や、本体のコンパクトさ、ケーブルが容易に抜き差しできない構造などを確認し、実用に足ると評価されました。また、高解像度でリモコンからパンチルトズームの操作が可能なAVer社のカメラが会議室内の参加者全員を捉えられることや、映像品質の良さにもご納得いただいたようです。



PTZカメラ
AVer CAM520 Pro2



Microsoft Teams Rooms
Lenovo ThinkSmart Core + Controller



▲ 汎用的なインターフェースを豊富に内蔵、ケーブル抜け防止のカバーがついている

専用機・PC、両方の良さを持つTeams Rooms。オンラインセミナー環境の増強も視野に

年度予算で導入したいとの最初のご希望通り、2023年3月にデモンストレーションでご確認いただいた構成での導入が決定しました。音響機器は、利用中のマイクスピーカーをそのまま利用することになりました。Teams Roomsは専用機ですが汎用的なインターフェースを持っているので、問題なくUSB接続ができます。

Teams Roomsを導入したことで、Teams会議への参加はもちろん、会議中の操作もシンプルになり、新しい会議環境に対するユーザーの満足度は高いとのことでした。

今後は、セミナールームで利用している音響設備の増強に着手される予定です。現在は講師の話配信する一方方向型で、アンケートや質問は後からメールで回収する流れのためご利用中のマイクでも問題ありませんが、社内で双方向型のセミナー開催への要望が挙がっており、今の機器で対応しきれぬのか懸念があるそうです。引き続き、同社のオンライン会議の運用をサポートして参ります。